



Special Olympics

2016年度 ルール変更 対照表 ショートトラックスピードスケート

変更前の内容	変更後の内容
	ルール変更対照表には、内容の変更があった箇所のみ記載しています。
セクションA - 公式種目	2. 公式種目 2.1.10 1500mリレー (※種目の追加)
セクションC - 用具 3. スケーターは、背中中央に布か紙のゼッケンをつける。ヘルメットにナンバーがある場合は、ヘルメットの右側につける。両側にナンバーが表示されたヘルメットビブスの使用が推奨される。	4. 用具 4.4 身分証明 4.4.1 両側にナンバーが表示されたヘルメットビブスの使用が推奨される。 4.4.2 ヘルメットに付けるゼッケン、あるいはヘルメットに番号を付けられない場合、スケーターは背中中央に布か紙のゼッケンをつける。 4.4.3 ヘルメットにナンバーを付ける(あるいはシールで貼る)ことが可能な場合、ヘルメットの両側につけること。
セクションE - 競技ルール 2. 1500m、3000mリレー h. リレーゾーンは、青色のホッケーゾーンのラインの間(直線距離の真ん中あたり)とする。	6. 競技ルール 6.2 1500m、3000mリレーのルール 6.2.6 チームは同じユニフォームを着るか、同じ色のピニーベスト(前掛け型ゼッケン)あるいは同じ色のヘルメットビブスを着用し、はっきり分かるようにしておく。 <削除>
セクションF - ユニファイドスポーツ®種目 1. 3000mリレー	7. ユニファイドスポーツ®種目 7.1 3000mリレー

<p>d. 各メンバーは、最低3周滑る。</p> <p>f. 各チームは、リレーを行うトラックのサイド(フィニッシュラインに関して近いか、遠いか)を選ぶくじを引かなければならない。</p> <p>g. チームは同じユニフォームを着るか、同じ色のピニーベスト(前掛け型ゼッケン)を着用し、はっきり分かるようにしておく。</p> <p>h. リレーゾーンは、青いホッケーゾーンラインの間とする。(直線部の中心部)</p>	<p>7.1.4 1500mリレーでは各メンバー最低1回、3000mリレーでは各メンバー最低2回交代しなければならない。</p> <p>7.1.6 競技者は最終2ラップ滑走中を除く、どのタイミングでもリレーを行ってもよい。これらのラップはひとりのスケーターで滑らなければならない。最終2ラップで転倒した場合には、スケーターはリレーを行ってもよい。</p> <p>7.1.7 チームは同じユニフォームを着るか、同じ色のピニーベスト(前掛け型ゼッケン)、あるいはヘルメットビブスを着用し、はっきり分かるようにしておく。</p> <p><削除></p>
<p>セクション G-SO スピードスケートのための効果的なグループ分け</p> <p>500m,1000m,1500mレース: 平均ラップタイムが15秒より下のスケーター</p>	<p>8. SO ショートトラックスピードスケートのための効果的なグループ分け</p> <p>8.4 平均ラップタイムが25~39秒のスケーター</p> <p>8.4.1 1500mチームリレー</p> <p>8.6 平均ラップタイムが24秒かそれより速いスケーター</p> <p>8.6.1 3000mチームリレー</p> <p>8.9 平均ラップタイムが15秒より下のスケーター</p> <p>8.9.1 777mレース</p>